



Vol.132
BINGO JOURNAL
教区報

メールアドレス bingo-k@fuchu.or.jp
ホームページアドレス <http://bingo.gr.jp/>

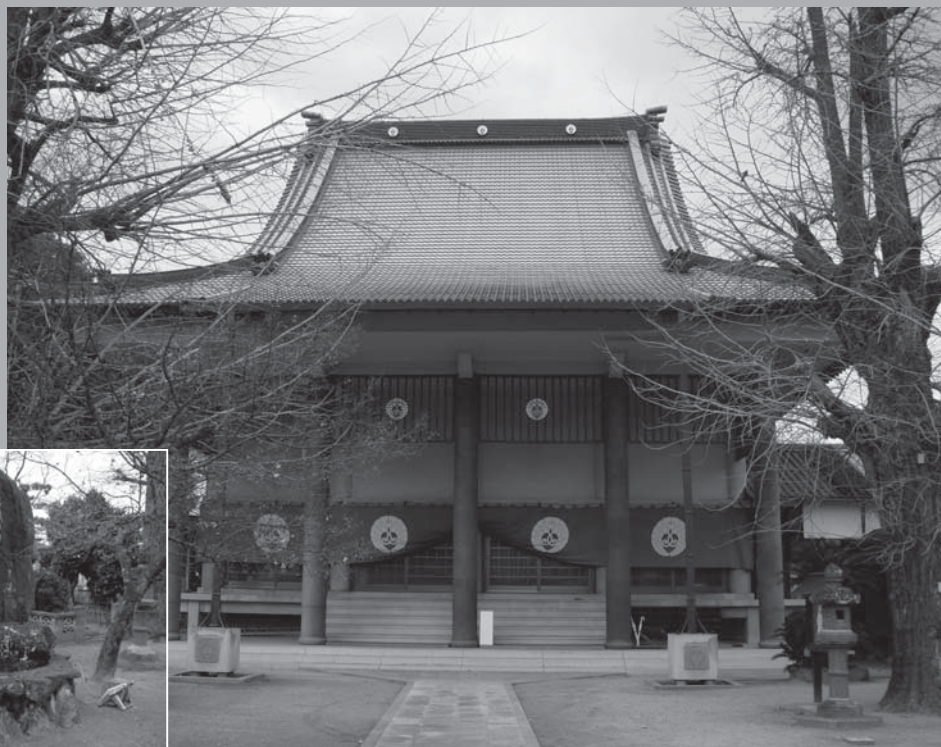


親鸞聖人
750回大遠忌



～世のなか安穏なれ～

真宗の
伽藍いかめし
稲の花
正岡子規



お寺の見える風景

写真説明は13頁

Contents

◆大遠忌ニュースフラッシュ
団参日程

◆視点 平和のつどい

◆クローズアップ備後

「高齢化社会における寺院機能を考える」

◆坊守探訪 芦田組 西教寺

◆連載「情報技術の普及と宗教への影響」

◆NEWS & 活動情報
組長会、靖国、自死、仏婦

◆予報・インフォメーション

新門さまご巡回
少年連盟子ども大会「ウォークラリー」

《お願い》

『教区報』の編集にあたり、皆様のご意見や
ご感想、情報の提供をお待ちしています。教
区報専門委員会まで、ご一報ください。

☎(084) 924-5759
fax (084) 931-9323

13

11

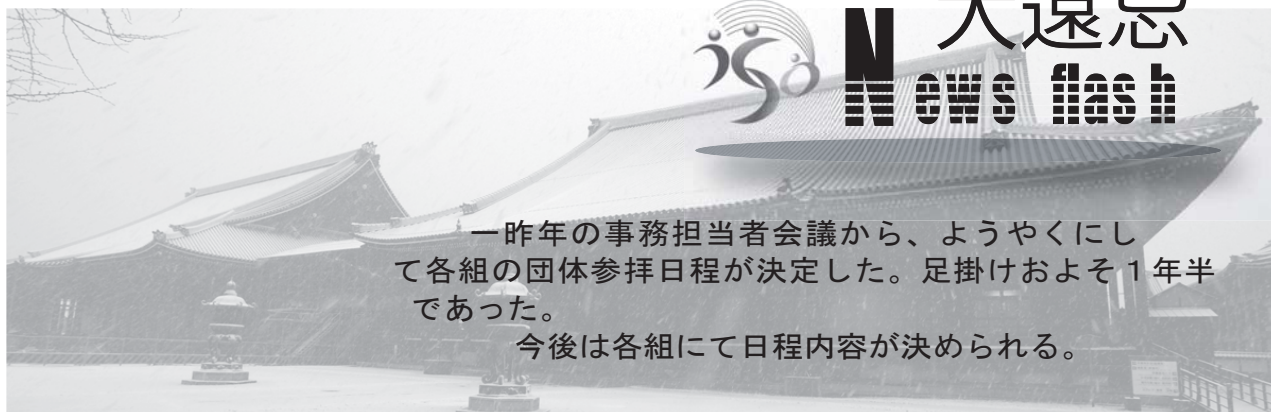
10

8

6

4

2



大遠忌 News flash

一昨年の事務担当者会議から、ようやくにして各組の団体参拝日程が決定した。足掛けおよそ1年半であった。

今後は各組にて日程内容が決められる。

平成23年各組団体参拝日程表

4月		11日	12日	14日	15日	16日
	午 前			鴨川北 120	沼隈西 300	
	午 後	沼隈南 200 御調西 240	芦 田 240		鴨 川 200	三 次 200

6月		10日	13日	15日	16日
	午 前	中 160	沼隈西 100	世 羅 160 三 谿 180	
	午 後			世羅 160	奥 160 比 婆 300 三 次 200 世 羅 160

9月		13日	14日
	午 後	芦 田 240	備中里 240

10月		11日	14日	16日
	午 後	沼隈西 200 沼隈南 250	神 石 160 御調東 200	三 次 200

11月		10日	16日
	午 後	深 津 500 御調東 300	御調東 200

大遠忌関連情報をお待ちしています

●大遠忌関連情報	
本山行事	
御動座法要	
4月1日(水)	
本願寺御影堂	
平成大修復完成奉告法要	
4月2日(木)	
本願寺御影堂	
平成大修復完成慶讃法要	
5月22日(金)～26日(火)	
大谷本廟親鸞聖人750回大遠忌法要	
10月12日(月)～16日(金)	
地方都市行事	
「広島市における法要行事」	
記念大会	
2010(平成22)年	
3月4日(木)～6日(土)	
教区内行事	
備龍会お待ち受け法要	

「宗会議員選挙報告」

不二川公勝明覚寺住職
勝村篤博順勝寺門徒 再選

不二川公勝総長を信任



▲不二川公勝総長

が、10日教区会にて選出された。ともに再選となる。
なお、その後、新議員による特別宗会（12月16日～17日）にて、不二川総長の信任投票がおこなわれ、信任された。2年後の大遠忌法要の円成及び、宗門長期推進計画の完遂に向けて邁進する。



奥村宏道選挙管理委員長より当選証書が渡された。代理で受理された明覚寺若坊守（写真上）と勝村篤博門徒議員（写真下）



昨年10月29日に宗

会が解散したことに伴う宗会議員総選挙が12月（僧侶議員7日、門徒議員10日）に行われた。備後教区からは僧侶議員に不二川公勝明覚寺住職が無投票で選出され、門徒議員には勝村篤博順正寺門徒

答申書のご報告

教区賦課基準等調整委員会
山下義円委員長



2004（平成16）年11月8日に、季平恵海委員長（当時）より答申書が教務所長に答申されました。それを受けて2007（平成19）年4月1日より続けてまいりました備後教区賦課基準等調整委員会も各種委員会を22回開催し、お陰さまをもちまして2009（平成21）年1月31日に教務所長へ答申書を提出させていただきました。ことが出来ました。

何回も集まり作業をしていただいた各委員様、又、各寺ご住職様には心よりお礼申し上げます。

その作業の中、門徒戸数の実数、化境制度や公開の問題点も出て、慎重に協議し作業を進め、様々の問題点、反省点も答申書に答申しました。次回2011（平成23）年4月1日発足の次期委員会では、今回の答申書を踏まえていただき、実数に近い門徒戸数が出ることをお願いいたします。

相談員退任挨拶



このたび12月24日付本山人事異動に伴い中央基幹運動推進相談員を拝命し備後教区基幹運動推進相談員、備後教区教務所賛事事務取扱を離任することとなりました。

備後教務所での10年間の在勤中は皆様方より公私にわたり、お育ていただきましたこと厚くお礼申し上げます。これから、宗門のためご法義繁盛のため微力を尽くす所存でありますので、今後も御指導賜りますようお願い申し上げます。





河野
義行
さん

NPO 法人リカバリー・サポート・センター理事。
愛知県豊橋市出身。名城大学理工学部卒。

視

Vol <6>

点

ともに いのち
かがやく 世界へ

平和のつどい

ー全戦争犠牲者を偲んでー

第13回大会 (2008年10月28日)

第13回大会が福山市沼隈町サンパルホールにて開催された。当日は正信念仏偈のお勤めの後、講師に河野義行氏を迎えて「平和を築く道」現代社会の危機と希望 松本サリン事件被害者河野義行さんに学ぶ」というテーマのもと、一時間半にわたりお話をいただいた。今回はその内容をまとめてみた。

(文責・教区報専門委)

世間のバッシングにさらされ

「わが家にとつての松本サリン事件の終わる日というのは、妻が治った日、あるいは死んだ日……。ですから松本サリン事件は、これで終わった日になる。そんな位置づけになると思う。」2008年8月5日河野義行さんは妻澄子さんの死去に際し、こう語った。

1994年長野県松本市の深夜の住宅街でオウム真理教信者らにより、猛毒のサリンが散布され、死者7人、重軽傷者660人を出

す事件が起こった。第一通報者であり、事件被害者であった河野さんは、当初容疑者として警察による捜査を受ける。同じく被害を受け、意識不明に陥った妻の看病をしつつ、自らもサリンの後遺症を抱えたまま、警察、マスコミによる「犯人扱い」を受け、世論のバッシングにさらされていった。

それから14年後の2008年8月5日。家族に見守られながら、澄子さんは、息を引き取った。60歳、事件以来、一度も意識が回復することはなかったという。こう

して松本サリン事件による死者は8名になった。

憎むエネルギーを看病に

今回の講演を思えば、妻、澄子さんを亡くされてからわずか2ヶ月後の講演であった。にもかかわらず講師の「オウム真理教(当時の)事件関係者に憎しみを持たない」というスタンスは変わることがない。また講師は、事件被害者としては少数派の「死刑」に対して慎重な立場を取っていることでも知られる。講演の中で講師は「誰



◀ 開会式での勤行



かを憎むということは、考えている以上にエネルギーを要するものです。私はそのエネルギーを妻の看病に……。また同じ立場で苦しんでいる人達と手を取り合うことに使いたかった。」さらに容疑者とされ、世間の批判と闘った日々を振り返り、「一番心配だったことは、やはり逮捕されるかもしれないということ。私自身は耐えられなくても、妻には私が必要だった。また家族みんなで心を一段高い所に置いて、逃げ出さずに向き合っていた」と話し合った。」と述べら

れた。

講演を聞くうちに警察の横暴な捜査、マスコミの暴力ともいえる過熱報道ぶりには驚かされた。さらには見も知らぬ他人からの嫌がらせの数々……。と同時に講師は自分を支え励ます多くの力があつた事を感謝をもって述べられた。

家族と多くの人の絆に支えられて

子ども達と普段変わらず接してくれた学校関係者、職場の上司や同僚、病院関係者や友人たち、親子の絆、そして何より目を開けず、口を開かずとも生き続けてくれていた妻の存在。人間の美しい面と醜い面とをまざまざと見せつけられる様な日々であつたと思わされた。

冒頭の言葉は、妻の死を看取った後、松本市の自宅前にて報道陣に応じて講師が語ったといわれる。同時に講師は澄子さんの14年にわたる闘病生活について「やはり(妻は)生きる意義を感じていたと思う。『家族や私を支えているのは、あんたなんだよ。』と

詩の朗読



は仏教であつたという事実はある。知られていないようである。「仏のみ法は真なれど、それを伝えていくのは煩惱を持った人間である。そこに宗教の魅力、危険性が混在する。」

さらにIT時代を迎え、我々は膨大な情報に向き合っている。

誤った報道はメディアだけの責任なのか? その背後にはテレビの前には身を置いて他者を

裁いて安心を得ようとする私達の社会心理がはたらいているとの事である。講演の後、参加者のお話の中「あの時、テレビで見た(サリン)事件を『あつ、この男が犯人か?』と憎しみの目で見えた大勢の中に私もいました。」と言われた正直なお言葉が私にもまた当てはまるのである。

家族崩壊が叫ばれる時代に互いに支えあつたのは、やはり「家族」だった。そして今回の「平和のつどい」を通じて学んだこと。あらためて私達ひとりひとりが持つ心の闇に向き合うこと、これこそが平和を築いていくために今、必要なことであろう。

心の闇に向き合って

ひとつは宗教の持つ二面性。世間を騒がせたオウム真理教が、実

高齢化社会における寺院機能を考える 福祉・病院施設の側面から①

750回大遠忌のビッグプロジェクトである「振興計画」の一つに「寺院活動の振興」が取り上げられている。宗門における寺院の位置づけは念仏の道場であり、聴聞の場である。その場での大方の「嘆き」は「少なくとも」「特に若い人が...」。ところがその「嘆き」の背景にあるお聴聞の先達だったお年寄りさえも...。一方、社会へ目を向けると高齢者に対し医療、介護、福祉の充実へ向けて躍起である。「ビハール」という言葉

まで生んだ寺院と宗門だが、現代社会と地域における寺院の役割とは何だろうか。備後教区内には寺院が関わっている福祉や医療施設がある。これらの施設と寺院は経営上、形態的には異なるが、共に「現代社会の課題に 대응」という側面では共通する。施設で積み上げられた高齢者への対応のノウハウが寺院機能にいかせないか、クローズアップした。

(取材II教区報専門委)

Close-Up-Bingo

施設が積み上げたノウハウを
寺院に生かせないか？

◆クローズアップ備後



▲「生きがい」を生み出すために様々な活動が行われている

700回忌のお寺の記念事業で発願

第一回目は庄原市にある比婆組妙延寺の尾野義宗住職が理事長を務める社会福祉法人「不動会」(養護老人ホーム寿園・特別養護老人ホーム相扶園等事業所経営)。昭和39年、先代の故・尾野敏住職によつて親鸞聖人700回大遠忌のお寺の記念事業として発願された。翌年、養護老人ホーム「寿園」を開園した。当時の社会状況は高

度経済成長のあおりで若者は都会へ流出し、高齢者が取り残されるが、当時の地方社会では福祉に対する意識は低く、援助もなく経済的にも精神的にも追い込まれていたという。

高齢者が生きぬく拠点に

こうした中で敏住職は「念仏者は相い扶け合っていかなければならない」。そこで「ご法義を喜んで生きぬく高齢者の拠点」としての老

人ホーム建設を念願した。「とにかく、前住職は心豊かに安らげる憩いの場を与えるのが住職の使命だと口癖のようにいつていました」とは、昭和40年3月に急逝した発願者の遺志を受け継ぎ門信徒と共に7ヶ月後に開園にこぎ着けた当時坊守の喜美さん。

この園のモットーは『仏説無量寿経』にある「和顔愛語」。喜美前坊守は「死に様は選べないけれど、生き様は選べるのですよ、とよく言います。生きる喜びを感じることができたなら、必ず和やかな笑顔となり、温かい言葉となるのです」と。そのために多種多様な仏教行事はもちろんのこと、「生きがい教室」や「悩み相談」などで様々な角度から対応している。住職の義宗理事長も「入園者にはここで『生きた証』を残して欲しいのです」と付け加える。

「真宗のお寺は生活の中心地にお寺を造ったと思う。蓮如上人は寺内町を造られた。まさに人々が集い、心豊かに生きる喜びを確かめ合ったのだと思います」と語る。そう考えると、いつのまにか、寺院を「死」のイメージ一色にした宗派や教団、寺院、僧侶の責任を

謙虚に反省する必要があるのかも……。

いづれにしても同会が目指している「生きた証」としての場所づくり、今後の寺院のあり方を学ぶこともできよう。参考までに行事を掲載してみよう。

生きた証づくりの拠点に寺院を

この老人ホームの宗教対応は仏壇のある集会所、納骨堂、仏教図書閲覧場所の設置。日常生活のモットーは前述のように「和顔愛語」。園の式典は仏式で行われ、毎朝、仏教音楽で始まり仏参。毎月一回は白鵠会の青年僧侶が法話。行事は修正会、花まつり、個

義宗住職は長年の体験から高齢者施設でビハーフ活動をする時に注意したいことをいくつか挙げてみる。

①老、病、死をタブー視しないこと。老人であることを否定したり無視したりしないこと②苦悩と孤独を支える人間関係をつくるために「共にいよう」という地道な行動が必要③高齢者の平常時における健康や自己実現や人格向上に対する援助が大切。それがその人に人間性、生きがい、喜び、尊厳性をもたらす。そのためにはビハーフ活動者の趣味や文化的教養などの人格的豊かさが力となる④高齢者施設はその人の生活の場。

比叡妙蓮寺の老人ホームなど

人的仏事や春秋彼岸、お盆行事など。生きた証を残すために機関誌『相扶』を発刊し、利用者の文集や俳句やインタビュー、写真などを掲載している。「生きがい文化教室」はもちろんのこと外出やシヨッピング、自治会活動もあるという。

相手への人生や人格、生活の敬意が大切⑤高齢者を見下してはならない。必ず自分も高齢者に。高齢者は生き字引。逆に教えていただくこともある⑥高齢者が自己を語り出したら、信頼関係が生まれた証し。活動者は自分の思いを押しつけず、先ず話を聞きましょう。

▼高齢者が生きがいをもち生きぬこうとする場所を目指す老人ホーム全景



そして「高齢者施設には人生のすべてが凝縮しています。ですからそこでのビハーフ活動は全人的な関わりであり、同時に学ぶことができます。だから、地域や在宅、医療機関などでのビハーフ活動に必ず役立つのです」と確信を語る。この言葉の「高齢者施設」を「寺院」に置き換えても通用するのではなからうか。

今こそ、寺院本来の機能を

取り戻すチャンスに
つまり、現代の寺院は本来有していた生活の中心地での「公民館

的機能」を歴史的にも、政治的にも、社会的にも、さらに宗門的にも失ってきたのではなからうか。前述の義宗住職が主張する「高齢者施設でのビハーフ活動の注意点」の寺院バージョンの構築に高齢者社会に応える寺院機能の方向性を求めることができないだろうか。

取材を終えて感じたことは、私たちは「高齢者」という言葉に対して「支援」「介護」と連想する。さらに「老人ホーム」と聞くと、無意識のうちに「死の準備」や「収容する場所」などと受けとめていないだろうか。義宗住職が強調する「ホームは高齢者が生きがいを持ち、生き抜いていくとする場所である」。この言葉はそのまま「寺院」に当てはまる言葉である。発願者の敏前住職は「信仰に結ばれた楽園をつくりたい」を親鸞聖人700回大遠忌の記念事業とした。今、地域行政の公民館活動がその実権を失おうとする時だけに寺院がその本来の機能を取り戻すチャンスと受けとめたなら寺院活動が活性化する一つの契機になるのではないか、と感じた。

坊守探訪 Vol.24

**普段個人では
出来ないことを
楽しむ**

今回お訪ね
したのは、芦田組
西教寺・長裕美坊守さ
んです。西教寺さんは福
山市立動物園のすぐ近く、
目の前には前住職さんの畑
が広がった静かな場所に
あります。(聞き手〓立
神多恵香委員、写真
〓山下瑞円委員)

芦田組 西教寺

ちょう
長

ゆ み
裕美

坊守

祖父に勧められて

立神多恵香委員 こんにちは。よ
ろしくお願ひします。早速ですが、
坊守さんは福山からお嫁に来られ
たのですよね。

長 裕美坊守 そうです。沼隈
の光源寺から来ました。



委員 同じ教区内で近くに嫁ぐ
のって抵抗は無かったですか？

坊守 そこまで深く考えてな
かったですね。住職は昔から知っ
ていたんですけど、まさか結婚す
るなんて思ってもみなかったし、
ただ、話しが来た時、祖父がよい
ご縁だからと勧められて決まっ

たって感じですね。

委員 そうですか。では結婚以
前からお互いの交流はあったん
ですね。

坊守 どちらかというと、私よ
りも住職の方が里の弟と交流が多
いくらいです。

住職、前住職のおかげ

委員 それは嬉しいような、寂
しいような感じですね。ところで、
こちらではお寺の活動としてはど
んな事がありますか？

坊守 法座は報恩講と永代経、
あとは婦人会活動くらいなんです
けど、うちの場合は全部住職が
やってくれているので、私は年に
一回婦人会から新年会をしたり、
旅行に連れて行って欲しいと意見
が出れば、その企画とか構成だ
けをする感じですね。

委員 西教寺さんの所は、今の
住職さんもそうですが、前住職さ
んの時も何でも住職さんがために
されますよね。

坊守 そうなんです。お父さ
んは料理でも何でもされるから、
子ども達もおじいちゃんの作って
くれるご飯が大好きで、あれが食
べたいと言えば作ってくれるし、

しかも手作りの野菜や山で採れた栗などを使った本格的な料理なんですよ。

委員 うちも時々西教寺さんから、とれたての野菜をいただく事がありますけど、やはりスーパードで買ったのとは違いますよね。住職さんと私は中仏の時の同期なので昔から知っていますが、やはり事務でも何でもまめですよ。

坊守 だから婦人会の旅行でも私が企画して、こういう風にしたいから。という切符から何かから手配は住職がしてくれます。旅行でも何でも私は普段個人では出来ない事をして楽しんで欲しいと思っていますので、やはり女性が盛り上がるとお寺も盛り上がる。お寺は法事とか葬式とかだけじゃなくて楽しいところだと思って欲しいんです。子どもの学校のお母さんの中には、俗にいう新興宗教の人もしらつしやるけどすごく熱心なんです。何がそこまで魅力があるのか、疑問ですね。

非現実的な世界で

委員 確かにそういう人たちはすごく熱心ですよ。そこまで本気になる何かがあるんでしょう

ね。

坊守 そうですね。だからとにかくお寺へ来て欲しい。そのためにはどうしたら良いかと考えて、新年会の時にカラオケ大会をすることにしたんです。それもただのカラオケ大会ではなく、衣装を用意して好きなドレスに着替えて歌ってもらおう。何も考えず・明るく・楽しくをモットーに普段出来ない綺麗な物を着て、きれいなお菓子を食べて非現実的な世界で楽しむんです。

常識にこだわらな

委員 それはまた大胆ですね。みんなの反応はどうですか？

坊守 最初は恥ずかしがっていましたが、勿論私も住職もドレスを着ていますから最高に盛り上がりますよ。

委員 すごいですね。あんまり想像はしたくないけど楽しそうですね。では坊守さんとして今一番頑張っているところはそこですか。

坊守 そうですね。とにかくみ

んなを楽しんであげたい。そして元気になって欲しいですね。

委員 いつも楽しいだけではないと思うけど、そういう時はパッと楽しく羽目を外すのもいいですね。他に何かこうしたら良いというアイデアがありますか？

坊守 以前、教区の仏婦50周年大会でお寺の紹介パネルを作った事がありますよね。そのときに会員の方がすごく楽しそうにされていたんです。あんな風にもっと自分たちで企画運営できるような大

会を、組持ち回りで2年に1回くらい出来たら良いと思います。みんな力は持っているはずなのに、お寺の事は家に付いている物のような感じなので、もっといろんな案



◀ お寺の紹介パネル



や積極性が出てくるような雰囲気のお寺づくりが出来たら最高ですね。

委員 本当に、そうなれば理想ですね。今日は楽しいお話ありがとうございました。

へ取材を終えて

そんな事も出来るのかという「目からうろこ」のビックリなアイデアを聞かせていただき、今までのお寺の常識に固まっていた頭になんか風が吹き込んできたような気がします。世の中もお寺も確実に変革期を迎えている今、今一度頭を柔らかくして考えていきたいと思いました。

情報技術の普及と宗教への影響①



▲ 備後教区のホームページ

「^{※Ⅰ}ブログ」が社会問題化し、逮捕者を出すまでになっている。宗教（仏教界）にも波及しつつある。そこで宗教社会学の研究をされ「メディアと宗教」を専門とされる、三次組専正寺副住職に緊急に依頼した。



深水顕真
三次組専正寺副住職

1995年、Windows95の発売に伴って、日本国内でのインターネット利用は本格的に始まりました。この95年を元年として、インターネットによるwww.（ワールドワイドウェブ）サービス

が、一般の人々が気軽に情報を交換することの出来るツールとして普及していきます。

当初は大学などの教育機関や、公官庁、大企業などが広報窓口としてホームページを開設しました。そして多くの宗教教団も、この流れに従ってホームページを広報窓口として開設します。本願寺においても、蓮如上人500回忌法要の広報窓口として、1998年公式ホームページが開設されます。以降、参拝情報の提供や法要中継、法話・聖典データベースなどの機能を持ち現在に至っています。

さらに、こうした公式ホームページ以外にも、個別の寺院がホームページを開設し、み教えの広宣流布に役立てようともしました。これらの宗教（仏教）に関するホームページは、2006年のヤフージャパンの宗教カテゴリーにおいては2900件に達しています。

このように多数のホームページが本山や個々の寺院によって開設されていますが、これまでは紙媒体などでの広報手法とその情報内容には大差なく、宗門のあり方に大きな変化を迫るものとはなっていませんでした。



しかし、2004年ごろから始まったブログは、発信される情報の質を変化させつつあります。特に、その簡便性から寺院においても、坊守や若院などが個人的な情報を書きこんでいるものも多く見られます。その結果、これまでの「公式見解」の教義解説だけではない「普段着のみ教え」を見ることが出来るようになりました。

特に大谷派の僧侶川岸妙慶氏^{※Ⅱ}などは、ブログを利用した小回りの効く情報発信で注目されているといえるでしょう。この例だけではなく、ブログの普及は宗門に様々な影響を与える可能性があります。次回は、このブログの功罪について事例を取り上げながら考えて行きたいと思います。

教区行政・行事

報恩講勤修される

【本願寺備後会館】11月28日、本願寺備後会館報恩講が勤修された。厳かな雰囲気の中、百名を超える参詣があった。午後の速夜法要には鴨川北・神石組からの出勤があり、1日を通した備後雅楽会の奏楽など盛大に勤められた。講師に藤井邦麿本願寺派布教使を招聘し、参詣者それぞれが宗祖のご遺徳を偲ばれた。

沖縄にて研修

【組長会】1月27日、28日にかけて、組長、副組長、組相談員を対象とした研修旅行が開催された。今回の研修は沖縄別院参拝と平和学習を目的として行われ、総勢11名が参加した。1日目に沖縄別院を参拝し、沖縄特区の歴史・現況など話を聞いた。2日目はひめゆりの塔をはじめ、様々な戦跡を見学した。独特な文化を形成する中での

教線拡充の困難さ、また、戦争の悲惨さを改めて痛感し、平和実現への意識を新たにした研修旅行となった。



映画「靖国」上映される

基推
第1部会

僧侶と門信徒の
共同参画

【靖国】昨年の初め、話題になったドキュメンタリー映画「靖国 YASUKUNI」が、12月4日に本願寺備後会館にて無料上映された。40名の参加があり関心の深さを示した。上映後、映画に出演の菅原龍憲さん（真宗遺族会事務局長）の講演会がつづき、参加者は熱心に傾聴した。



▲ 講演される菅原龍憲先生

教区月報「敬称略」

11月	1日	2日	4日	4日	6日	7日	11日	12日	13日	17日	20日	21日	26日	27日	28日	12月	1日	2日	2日	3日	3日	4日	4日
	中・四国若婦大会実行委員会、企画部会	全国仏壮大会（神戸）	サポーター連絡協議会	連区キッズサンガ連絡協議会（5日まで）	基推常任委員会	団参委員会	会館常例法座	選挙管理委員会（本山）	ビハークラ実践学習（寿園）	基推第4部会	仏婦おみがき奉仕	教区報専門委員会	勤式練習会	常備会	会館報恩講		ブロック門徒総代会研修会（安芸 2日まで）	化境制度研修会	賦課基準等調整委員会	教区選挙管理委員会	法式・法務専門委員会	基推第1部会	映画「靖国」上映・講演会

基推
第2部会
男女共同参画
社会・人権

自死問題関心高く

【同宗連】1月23日、広島同宗連主催による研修会が福山市共同参画センターにて行われた。「自死(自殺)について:もしも、私に相談がきたら」をテーマに東京自

福山市共同参画センターにて



▲ 藤沢克己先生

殺防止センター相談員の藤澤克己安楽寺副住職の講義があった。

講師は自死相談の手紙に、返事を出す活動をしている。一通の手紙に3人が一組になり返事を考え、手書きで返事を出す。「ありのままの気持ちを受け入れ、寄り添う心が大切」と語られた。講義終了後は、グループに分かれ、実物の自死相談の手紙を参考に作られた手紙に返事を書き、話し合うワークショップが行われた。

自死問題について、やはり各宗派関心が高く総勢で約80名近く、本派関係者は安芸教区含め半数近い参加者があった。

備後教区においては2月17日に「自死を考える学習会」が本願寺備後会館にて開催された。

基推
第3部会
僧侶と門信徒の
共同参画

若婦大会講師決定

【仏婦】10月24日、25日に御調東組照源寺にて開催される中・四国ブロック若婦人大会について、2



回目の実行委員会(1月24日)が本願寺備後会館にて行われた。

今回は企画部会からの各種提案事項が協議され、講

師に、藤井邦磨元仏婦総連盟講師(大分教区正善寺)が決まった。好評であった結成50年記念大会につづいての出講となる。

5日	仏婦推進者養成研修会	24日	組長会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	臨時教区会	9日	青年布教使の会	5日	仏婦推進者養成研修会
		25日	布教団役員会	17日	備龍会会館清掃奉仕	15日	備龍会会館清掃奉仕	14日	中・四国若婦大会実行委員会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		1月	同朋三者懇話会専門委員会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		20日	基推第2部会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		20日	基推第4部会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		21日	キッズサンガ推進委員会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		22日	基推第3部会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		22日	基推常任委員会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		24日	中・四国若婦大会実行委員会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		24日	並びに企画部会、若婦専委	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		26日	仏壯連盟役員会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		26日	団参事務担当者会議(本山)	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		26日	備龍会ハンセン病研修会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
		27日	ブロック少年連盟連絡協議会	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		
			(安芸 28日まで)	17日	連区基推連絡協議会	15日	寺婦三役会	14日	企画部会	11日	会館常例法座	10日	基推第4部会並びに	10日	選挙会		

予報ーインフオメーシヨン

●新門さま教区ご巡回

昨年11月から始まった、新門さまご巡回・ご巡拝が、4月6日、本願寺備後会館にて左記の通り開催される。(予定)

午前11時30分

帰敬式

午後1時30分

※対象は教区・組會議員及び参与記念式典・布教・巡回の集い

午後6時

※対象は教区内役職者

懇談会(福山ニューキャッスルホテル)

※対象は教区内全寺院及び役職者

●参与会総会、間法会

3月4日(水)

本願寺備後会館

講師 法正良映円超寺前住職

●基推総会、研修会

3月17日(火)

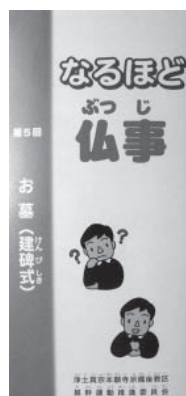
本願寺備後会館

●長島愛生園現地学習会

3月24日(火)

教化資料BOX

好評の『なるほど仏事』第5回が出来上がった。今回は「お墓(建碑式)」を取り上げている。



会館常例法座出講者

(敬称略)

3月

深水顕真

(三次組専正寺)

4月

藤間幹夫

(深津組光明寺)

5月

是山宗憲

(世羅組真行寺)

お寺の見える風景



子規が詠んだ伊予のお寺

松山市内を流れる石手川。公園、テニスコート、グラウンドゴルフ場等が整備され、多くの人が集い、汗を流している。川沿いの道を歩いていると、ひと際高いお寺の屋根が目飛び込んでくる。四州教区松山組相向寺(昆奈英正住職)である。

掲示板の沿革によると、開基は一五四四年。明治に入って一時衰退し、本尊も寺域も人手に渡る。その後鏡如上人の特命により、福井県の往相寺住職が入寺されたが亡くなられたため、

27日 組長会研修旅行
(沖縄 28日まで)

29日 仏婦連盟役員会

30日 寺族女性勉強会

30日 少年連盟役員会

31日 ビハークラ活動全国集会
(2月1日まで)

2月

2日 会館休館日(3日まで)

5日 教区報専門委員会

9日 同朋三者懇話会(尾道)

11日 会館常例法座

17日 自死を考える学習会

19日 教化団体連絡協議会

20日 僧侶研修会

20日 勤式練習会

次弟が入寺。四散している門徒を糾合し教化に心血を注がれた。

明治28年、愚陀仏庵で静養していた正岡子規が散策した時に詠んだ句集『散策集』の中に相向寺を詠った句があり、境内に句碑が建立されている。

真宗の 伽藍いかめし 稲の花

正岡子規

(文責・教区報専門委)

第8回備後教区子ども大会「ウォークラリー」

少年連盟主催による「ウォークラリー大会」が下記の通り開催されます。キッズサンガの具体的な取り組みとして、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。参加人数が少なくても、他の少ないグループと一緒に合同チームを組むことも可能です。

ウォークラリーは
オリエンテーリングに
似た野外ゲームです。大き
な相違点は、一般の地図を使
うのではなく、コマ図と呼ばれ
る道順を指示する図を使って、
どこにあるか分からないゴール
を目指す点です。途中のチェッ
クポイントでは課題が出題さ
れます。

BINGO-KYO-KU
SHONEN-RENMEI
WALKRALLY
IN
FUKUYAMA



3月31日 (火)

am10:00 ~ pm3:00

本願寺備後会館・福山城周辺

1000円 (弁当含む)

対象は小学生

1チーム10名以内で編成してください

予
報
ー
イン
フ
オ
メ
ー
シ
ヨ
ン

BIRYUKAI
立龍
備龍会

備龍会主催にて「親鸞聖人 750 回大遠忌法要」を勤修いたします。お寺の子どもたちも一緒にご縁にあえる法要にしたいと、計画しています。ご参加頂きますようご案内申し上げます。詳細につきましては後日各寺院に送付いたします。
備龍会会長 足利義信

お待ち受け
親鸞聖人 750 回大遠忌法要

4月1日(水)
AM 10時～
御調東組(尾道市御調町)
照源寺
参加費 1ヶ寺 **1000円**

おつとめ
「宗祖讃仰作法」

アトラクション
手品
バルーンアート
ぬり絵コーナー
等々



- 13日 定期教区会
17日 基推総会・研修会
18日 ビハーラ実践学習(花の里)
24日 長島愛生園現地学習会
25日 仏婦連盟役員会
31日 子ども大会 ウォークラリー(福山駅周辺)

4月

- 1日 備龍会主催 750 回大遠忌法要(御調東組照源寺)
1日 御動座法要
2日 本願寺御影堂
平成大修復完成奉告法要
6日 新門さま教区ご巡回
11日 会館常例法座
11日 仏壮連盟役員会
13日 仏婦総会・研修会
14日 保育連盟全体協議会
19日 仏壮総会・研修会
23日 第6回サポーター連絡協議会

今後の予定

2月

- 22日 ほほえみ講座
23日 常備会
24日 仏婦役員研修会(25日まで)
26日 ビハーラ実践学習(藤江荘)
26日 会館責任役員会・総代会
27日 布教団部門別・基幹運動研修会並びに臨時総会

3月

- 3日 連区教化連絡協議会(四州 4日まで)
4日 参与会総会、聞法会
5日 教区会研修旅行(6日まで)
7日 中・四国若婦大会実行委員会、企画部会
7日 勤式北部研修会(神石組正光寺)
9日 勤式練習会
9日 キッズサンガ推進委員会
11日 会館常例法座

Radio BINGO
お坊さんステーション
 FMびんご 77.7メガヘルツ
 毎週 月曜日&火曜日
 午後6時10分頃

心に響く言葉。
お蔭様とは
私の愚痴が
感謝の心にかかわること
 金子みすゞ

得度許可

おめでとう
ございます

〔敬称略〕

沼隈南組 高泉寺

豊平 匡志 (匡志)

比婆組 西林坊

森元 由佳 (由佳)

三次組 福善坊

福藤 淳子 (淳心)

(平成20年10月15日付)

世羅組 善仁寺

松浦 怜子 (瑞華)

(平成20年11月12日付)

教師授与

おめでとう
ございます

〔敬称略〕

神石組 光福寺

佐武 晃正 (晃正)

世羅組 教専寺

岸 順子 (沙羅)

(平成20年9月30日付)

敬 申

お悔やみ
申し上げます

〔敬称略〕

芦田組 西圓寺

坊 守 山名 雅子 (10月27日寂)

世羅組 教専寺

衆 徒 谷川 義弘 (12月2日寂)

深津組 光行寺

前坊守 苅屋 初音 (12月25日寂)

御調束組 善行寺

衆 徒 三宅 光子 (1月12日寂)

香典返礼

ありがとうございます
ございます

芦田組 西圓寺 様

より香典返礼を頂きました。

お れ

ありがとうございます
ございます

三谿組 明覚寺 様

より本願寺備後会館へ
多額のご寄付を頂きました。

編集後記



先日、ある失敗をした。悔やんでも悔やみ切れず、また先方へご迷惑をかけたことへの申し訳なさが心に残る。私は以前ある人に、「成功の反対は何かわかるか？」と問われたことがある。私は、「失敗です」と答えたが、その人は、「何もしないこと」と言われた。「懸命な失敗は次へのステップになるのだよ」とも言われた▽私の心の中に決して成功してやろうなんて気持ちはないが、出来る限り上手な人生を歩みたいと思う醜い気持ちがあるのが正直なところだ。こんな時こそ、自分の失敗を謙虚に受け止め、常に我が身を振り返る内省の気持ち心掛けたいものである。

(Z・Y)